

同窓会だより



2021年4月20日 第21号



明確な問題意識と当事者意識をもって

教育学科同窓会会長 比佐 實

2020年は、「新型コロナウイルス感染症 COVID-19」の世界的な蔓延と混乱・混迷のなかで経過しました。日本での感染は2020年1月に確認され、この衝撃的な現実への的確な認識・対応を欠くなかで、収束の見通しも立たず、2021年を迎えました。日本は、オリンピック・パラリンピック（7月・8月開催予定）の主催国として世界から注視されており、日本の世界における存在意義・価値が問われていることを銘記すべきです。

青山学院大学（教育学科）で学び、学問をする機会を与えられた存在として、明確な問題意識を有し、事実の客観的認識・理解とともに、当事者意識をもって現代社会に生きる意味・意義を考えてまいりたく存じております。

教育学科同窓会は、2020年度総会を未開催といたしました。また、会報の発行等、同窓会にかかわるご案内が滞り今日に至り、会員の皆さんには、意思疎通（コミュニケーション）の機会を逸することとなり、多大なご迷惑をお掛けすることとなりました。心よりお詫び申し上げます。

教育学科同窓会は、社会が日常を取り戻し「対面による活動」にいたりますまで、会員の皆様のご理解ご協力をいただきながら、同窓会活動に取り組んで参ります。事情ご賢察のうえ、よろしく願い申し上げます。

会員の皆様におかれましては、有意義な2021年でありますようご祈念申し上げます。ご健勝をお祈り申し上げます。

CONTENTS

会報第21号



現在の教育学科同窓会
ウェブサイトトップページ

巻頭言 明確な問題意識と当事者意識をもって（比佐 實（'73））	…	1
教育学科同窓会からのお願い オンラインでつながりましょう	…	2
教育学科同窓会2021年度以降の活動に向けて	…	3～5
総会レポート	…	6
2019年度事業報告・2019年度決算報告	…	7～8
2020年度事業計画・2020年度予算（案）・役員一覧	…	9～10
青山学院大学の駅伝への思い 第2回（斉藤満智子（'93））	…	11
わたくしの今… —皆さんの三行消息—	…	12～13
役員の状況・会費納入一覧	…	14～16

来る**6月27日（日）14時～16時**、総会・講演会をオンラインで実施します！

今年度の総会はオンラインで実施させていただきます。通常5月に開催していましたが、今年は6月開催です。ご参加にはメールによる事前連絡が必要となります。詳しくは次ページをご覧ください。

総会：14時～14時30分
講演会：14時40分～16時

演題：New Normalであらためてわかった
コミュニケーションの大切さ

講師：安海 将広 氏

（国際コーチング連盟マスター認定コーチ）

オンラインでつながりましょう

会員の皆様へのお願い

同窓会では、いかなる時でも会員の皆様とのつながりを求めて、このあとも力強く前進していきたいと考えています。けれども、今年は安心して皆様に直にお目にかかれる状態ではありませんので、6月27日(日)に予定している総会についてもオンライン会議(zoom等)で行う計画であります。ここでひとつ問題が生じます。それは、パソコン等の機器に対して苦手意識をお持ちの方への配慮です。そこで、同窓会ではパソコンに自信が持てない方のためのオンライン練習会を総会前の4回にわたって企画したいと考えました。

書面ベースのお知らせだけでは、どうしても年に1,2回に限られてしまい、つながりが継続しにくい状態となってしまいます。この機会に大きな一歩を踏み出してみませんか？ もちろん、パソコンに不安がない方も、ご参加は大歓迎です。画面越しとはなりますが、皆様のお顔を拝見しながら、各自お茶でも用意して、気軽に近況を語り合しましょう。

◆オンライン練習会の日程

- 1回目：2021年5月7日(金) 14時～16時
- 2回目：2021年5月13日(木) 19時～21時
- 3回目：2021年5月20日(木) 14時～16時
- 4回目：2021年6月12日(土) 14時～16時

スマホでの参加もOKです！

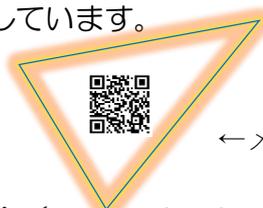


練習会は全4回行います。1回だけのご参加でも、すべてご参加くださっても構いません。途中参加など、部分的参加もOKです。一度体験できれば、そんなにたいへんなことでもないと感じていただけるはずです。多くの会員のご参加をお待ちしています。

◆参加するには

まずは、なるべく前日までに教育学科同窓会(aoyama.kyoiku.almuni@gmail.com)宛てにメールを出してください。このときに、①氏名、②卒業年、③参加希望日の3点をお書きください。後日、同窓会からzoomの招待状を送信します。

※ 6月27日総会のみのご参加の場合も同様の方法で、同窓会宛てにメールをお送りください。



←メールのQRコード

◆当日になったら

上記zoomの招待状メールに貼り付けられているURL(青字で下線が引かれている部分)をクリックしてください。するとzoomが開かれます。zoomが開いたら、①「開く」をクリック、②「コンピュータのオーディオを使用する」をクリック、これでOKです。もしうまくいかなければ、上記教育学科同窓会までメールでお問い合わせください。電話番号をお知らせくだされば、こちらからお電話します。たくさんのご参加をお待ちしています！

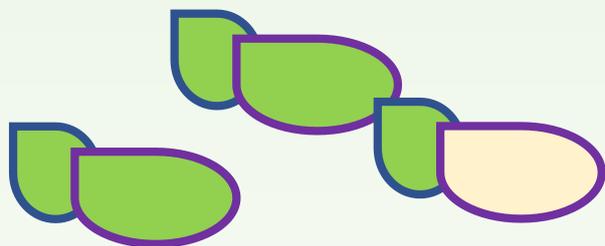
教育学科同窓会 2021 年度以降の活動に向けて

— 同窓会創立の原点に立ち返る —

本稿は、新型コロナウイルス感染症 COVID-19 という厳しい状況のもと、会員の皆さんとともに、教育学科同窓会の存在の意味を考えることを目的として、役員会が取りまとめをいたしました。

「同窓会だより」第 21 号が、お手許に届くころ、COVID-19 の事態が大きく変化（好転）していることを願っております。

青山学院大学教育学科同窓会
役員会



新型コロナウイルス感染症を考える



教育学科同窓会は、2020 年 9 月に創立 20 周年を迎えました。この記念すべき年を緊迫した状況のもとで迎えることとなり、会議・行事等、活動のほとんどを中止としました。今後も、対面活動の見通しが立っていないというのが実情です。

「コロナ時代を生きる私たちは今、グローバルな道徳、いわば『精神に対するワクチン』を必要としている」（マルクス・ガブリエル、独ボン大学教授）は、道標になるでしょうか。

日本では、「感染症対策と社会経済の両立」を前提とした対策として、『緊急事態宣言』（2020 年 4 月 7 日発出、5 月 25 日解除）により、行動基準が設定されました。「不要不急・自粛要請・三密解消〈密接・密集・密閉〉」が、明確な説明もなく求められ、日常生活は混乱し、社会は変容を余儀なくされました。マスク着用、そしてフィジカルディスタンス・ステイアットホーム等が巷に溢れ、これが新たな日常・光景として広がっています。社会経済は、デジタル化への本格的な取組とともに、一部テレワーク・オンライン会議等、ICT（情報通信技術）が導入され、様相が一転するにいたりしました。

COVID-19 は、現代社会の現実を露わにし、課題を突きつけました。この社会に今、何が起きているのか。これは、一時的な現象、または新たな現象のいずれであるのか。この重大かつ深刻な状況を、客観的、かつ冷静に受け止める必要があります。それには、科学的な方法により医学的に因果関係を極めることが必要です。とにかく、人命が最優先、そして、社会経済への影響を極力抑えることが肝要です。収束には、自然科学・社会科学を問わず、それぞれの英知が結集されることが求められます。まさに、COVID-19 は、グローバル化された現代社会（社会経済）に、「今を問い・生きる意味」を人類の共通の課題として突きつけることになりました。それには、謙虚さをもって、この課題に正面から向き合う姿勢・考えが要求されます。

学校教育の現実



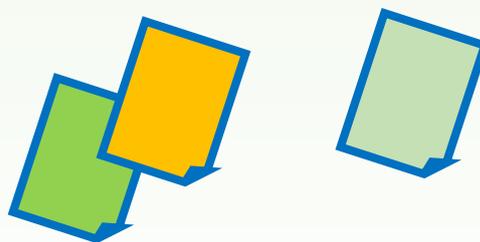
学校教育にも、COVID-19の影響が及んでいます。2020年3月2日から突然の一斉休校があり、対面授業の機会が損なわれていきました。卒業式・入学式もままならず、2020年度は新学期を迎えました。その後、授業が再開され、平常へ戻るための努力がなされていますが、明確な方針と将来への展望を欠くなか、混乱の誹りは免れえません。

学校教育の現場は、現在でも、マスク着用・フィジカルディスタンス、オンライン・リモート授業等、社会の基準が持ち込まれています。夏休みは短縮される等、従来とは異なる方法・形で実施されました。そして、昨今、学習としてICTの導入が進められています。この意味を問うこともなく、PC・タブレット端末等が導入され、教育のデジタル化・技術論が先行し実践されています。しかしながら、今すべきは、教科内容の精選についてより深く探求することに加え、学習への姿勢・動機づけ、即ちアクティブ・ラーニングの意識的な取組を推進させることです。換言すれば、教育の質的な改革がなされるべきです。要は、対面授業を主体とする教育の回復であり、学問に対する問題意識の高揚です。そして、「学び・教える」ために必要な空間・環境をいかに整備するかです。

大学も、知の中心としての学問・教育をする空間・機会が著しく損なわれ、対面授業からは程遠く、オンライン・リモート授業が当たり前となり、深刻な状況下にあります。

しかしながら、オンライン授業はマイナス面ばかりでなく、新たな教育方法の一つとして考えられ、プラスの面もあることを知るきっかけにもなりました。これまで当たり前と思っていた対面授業の喪失により、教育現場に混乱が生じることもありましたが、その対面授業を補い、また、それに勝る部分を持ち合わせていることが見えてきました。

青山学院大学では？

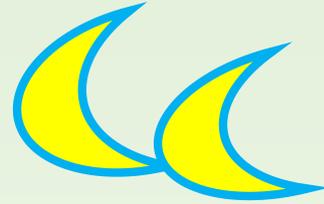


日本の大学は、いずれも学問をする機会・環境が著しく変容を余儀なくされ、知の中心・アカデミズムからは程遠く、存在の意義さえ問われかねない深刻な状況にあると推察しています。対面授業に代わりオンライン・リモート授業が当たり前となり、キャンパス・学びの場から学生の姿・声が疎^{まば}らにしか見聞きできなくなりました。大学すべてがこのような状況下にあるとはいえ、やはり異常です。また、この現実は一時的な現象に止まるものではなく、大学の将来に関わることを知るべきです。

青山学院大学も同様な状況にあります。2019年度卒業式が中止となりました。2020年度も入学式が中止され、授業開始延期、そしてオンラインを主体とした授業で終えることとなりました。大学キャンパス内への立入も長期間制限が加えられてきました。大学として本来有すべき機能・意義の喪失、それが将来的に重大な影響を及ぼすことが懸念されます。この状況のもとで、学生の皆さんが、学問への真摯な姿勢・探究とともに、青山学院大学への思い・プライドをもちうるのか。これに加え、経済的・精神的に勉学の危機に瀕していると言う現実が伝えられています。

青山学院大学・青山学院が、名実ともに「The Salt of the Earth, The Light of the World」を体現し、まさに『AOYAMA VISION』（目標）に向けて、光り輝く存在となることを、切に願うものです。

教育学科同窓会 2021 年度以降に向けて



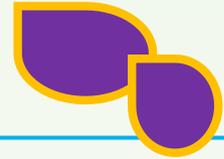
COVID-19により、校友会や同窓会の活動にも深刻な影響が及んでいます。会議・行事等は、そのほとんどが中止・延期を余儀なくされ、日常活動に支障をきたしています。Chapel Concert、東日本大震災復興支援コンサートは中止となりました。因みに、大学同窓祭・青山祭は一部オンラインで開催されました。

教育学科同窓会も、COVID-19の影響を受け、活動に支障をきたしています。総会は未開催となりました。行事等も中止、また、「同窓会だより」第21号は発行延期を余儀なくされる等、まさに、会員の皆さんとの意思疎通を欠くこととなり、同窓会活動は麻痺状態にあります。このように、極めて難しい局面に立たされていますが、活動の継続に向けて努力してまいります。

教育学科同窓会は、対面活動が可能となることを願い、2021年度以降の重点目標、並びに活動概要を、次のとおり策定しました。会員の皆さんのご理解ご協力をお願いいたします。

なお、2020年度総会（書面審議を含め）を未開催といたしましたことから、当該資料を同窓会だよりに掲載し、会員の皆さんのご意見をお伺いし、今後の活動の参考にいたしたく存じております。

2020 年度・2021 年度以降の活動



【重点事項】

会員の皆さんとの良好な関係の維持・確立に努め、一層の相互の理解・意思疎通の円滑化をはかることが最重要課題です。対面活動に至るまで、当面、有効な方法・手段として、IT（ウェブサイト・メール・QRコード・オンライン会議等）の積極的・有効活用をはかるため、その取組を早急に行います。

会員の皆さんにおかれましても、電子データ・IT等の活用について、ご理解ご協力をお願いします。

【2020年度の活動概要】 2020年度事業計画（総会資料）をご参照ください。

【2021年度以降の活動概要】

1. 会議 対面活動が可能となるまで、原則としてオンライン審議
 - 1-1. 総会 オンライン審議（本号 p.1 下段を参照）
 - 1-2. 役員会 オンライン審議（ウェブサイト・メール等を活用）
 - 1-3. 幹事会 オンライン審議（ウェブサイト・メール等を活用）
2. 講演会 オンラインにて開催（本号 p.1 下段を参照）
3. 会報 発行予定（編集会議は、リモート、メール等を活用）編集方針・内容については、別途検討
4. 同窓会創立20周年記念（会員・OB/OGの皆さんの思いを反映した企画）次年度以降に繰越
 - 4-1. 記念イベント等（内容・時期等については別途検討）
 - 4-2. 記念植樹（時期については別途検討）
5. 意思疎通の一層の円滑化（IT（ウェブサイト・メール等）の有効活用）

ウェブサイト <http://www.alumni-aogaku.jp/alumni003/index.php>
メール E-mail : aoyama.kyoiku.alumni@gmail.com
6. 大学同窓祭 主催者と別途検討
7. 復興支援プロジェクト 主催者と別途検討（第9回東日本大震災復興支援コンサート）
8. AGU Chapel Concert 主催者と別途検討
9. 懇親会 会食を伴う懇親会は開催を見合わせる（レクリエーション・散策地については別途検討）